

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスきだっこ		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 2日		～ 令和 8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27人	(回答者数) 17人
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 2日		～ 令和 8年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職場のチームワークの良さ・勉強熱心なところ	職員一人ひとりの強みを活かし、それぞれがフォローしながら協力をして療育にあたっています。 また、子どもの発達や療育についての研修、人材育成の研修に積極的に参加し、学んで来たことを職員間で共有して日々の療育に活かしています。	放デイ会議の他に、子どもたちの近況等共有できるようにファイルを作成し、すぐに見返せるようにしていきます。 また活動やイベント、また業務等のそれぞれの担当を決め、効率よく進められるように取り組んでいます。
2	利用している子ども達に合わせた活動スペースが充実している	令和7年9月に放デイあおばの部屋の配置を替え、宿題などを行う机上スペースと活動等を行うスペースを分けたことで、目的に合わせたスペースが確保できるようになりました。	目的に合わせた道具や設備を整え、今以上にスムーズに活動スペースが確保でき、楽しめるように工夫していきます。
3	保護者の気持ちに寄り添った支援をしている	半年ごとのモニタリング面談とは別に、必要に応じて保護者からの相談にのったり、困りごとを一緒に考え対応を行っています。また、長期休み等で、保護者の方の就労に応じて延長支援も行っております。	今年度よりペアレントトレーニングに取り組み、それぞれの保護者の方のモチベーションも上がり、とても良い効果を得ることができたので、さらにスキルを上げ、継続して行えるよう努力をしています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、アルバイト職員やパート職員が参画できていない	アルバイト職員や、パート職員の勤務時間に余裕がないため、全体での話し合いの時間を確保できていません。	アルバイト職員やパート職員間でも共有できるように、申し送りの徹底と、確認を行っています。
2	支援の内容や役割分担について確認することができていない	支援開始前には職員間で打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認することができておらず、各自でそれぞれを確認している現状です。	その日の出勤者、児童、活動内容や細かい連絡事項と一緒に周知できるように、今後は朝礼を行い、時間差で出勤してくる職員への申し送りもしっかりと行っていきます。
3			